

20230630 第154回『運輸の日』

30日、東神トラックステーションにて『第154回 運輸の日』を実施、本日の行動は県央地区連絡協議会の当番、ベテランが集合しましたが、生憎の雨！小雨になり次第活動開始！

本日は、天候が悪いため、独自のアンケートはありませんが、運輸労連のWEBアンケートの期限が8月末日のために、配布行動とアンケートの協力をお願いしました。

行動開始より30分たたない間に雨も止み晴れ間も覗き込んできました。行動者の熱意でしようか？



ドライバーの方からは、「2024年問題とされているが、この業界は今後良くなるのか？不安がある！」と話しかけてくれました。また、「今、TVでもやってるね。2024年問題って、そんなに深刻？荷物届くまで待ってよ～」と明るく話してくれるドライバーの方もいました。

今回は、女性ドライバーの方は3名いらっしゃいましたので、この業界にあって欲しい部分などを聞いてみたいと思います。

次回、7月10日（月）湘南地区連絡協議会がお待ちしています。



行動者の感想

6月30日10時から東神トラックステーションにお邪魔して神奈川県連恒例の第154回運輸の日を開催しました。参加者は望月書記次長はじめヤマトボックスチャーター2名、急遽ヤマト湘南から伊丹委員長が参加され5名ではじめました。

朝からあいにくの雨で横断幕を設置せずに入り口付近に県連のぼり旗のみで、雨が小降りになるのを見計らい厚生労働省が出しているトラック運転者の長労働時間改善の特別相談、荷待ち時間の改善、令和6年4月から適用される改善基準告示改正、労連アンケート調査用紙などのパンフレットをドライバーさんにしっかりと説明して渡しました。

もう154回目となりなかなか活動の成果が不透明ではありますがこれからも県連独自の地道な活動を継続して行なっていきたいと考えています。

県連加盟の単組の皆様には引き続きのご協力を宜しくお願いします。

今井 勇(ヤマト運輸労働組合厚木支部)

本日は雨模様だったため、当初予定のアンケートをとりやめ、教宣物配布のみとなりました。それでも前回に比べるとトラックの入れ替わりが多かったため、数はこなせたと思います。雑談の中では改正改善基準告示の話もしました。多くのドライバーさんは働く時間が短くなることは知っていて、それをネガティブに捉えている人もいました。ワークライフバランスの観点から働き方を変えていくことは大切ですが、一方で運送事業者が利益を得やすい仕組み作りも進めていかなければ、仕事は楽になったけど生活は苦しくなった になりかねないので難しい問題だなと感じました。

籾町 達哉(ヤマトボックスチャーター労働組合)

第154回運輸の日に参加してきました。朝から生憎の雨が降り出し今日は難しいと思われましたが、自分以外の方はきっと晴れ男で雨も上がり行動開始!!今日は朝からほぼ満車状態でどのトラックもカーテン閉めて休憩中のトラックだらけ、ティッシュ入りのチラシを配布して回り皆さん話を聞いてくれる方達ばかりでした。『この先良くなるの?』と聞かれ声をあげて良くしていきましょうと答えると『ほなちゃんと見るわ』と返事があり受け取ってくれました。何時間経っても同じトラックばかりでした。

伊丹 正彦(ヤマト運輸労働組合湘南支部)

6月30日に大和にある東神トラックステーションでチラシを運転手にパンフレットを渡しました。最悪にも雨が降ったいてパンフレットが濡れないように渡すのが大変で声をかけるのも大変でした。皆さんが優しく受け取ってくれたのが印象的でした。

須田 吉伸(ヤマトボックスチャーター労働組合)